

生物化学的測定研究会 第18回学術シンポジウムプログラム

「進化・融合する生物化学的測定法」

本研究会がテーマとする、抗体をはじめとした生体分子を用いた分析法のイノベーションにおいては、検出素子（タンパク質）の構築・進化と、その性能を生かすための高性能な信号増幅デバイスとの融合が不可欠である。本シンポジウムでは、主にアカデミアより新しい検出素子、さらに各種バイオセンサ構築の最新の研究成果をご紹介いただくとともに、産業界から実用的な免疫測定系開発の case study をご紹介いただく予定である。ご講演、ならびに活発な議論を通じ、本シンポジウムが生物化学的測定法の更なる発展の糧になれば幸いである。

- 日時 : 2013年(平成25年)11月8日(金) 13:00-17:00 (受付 12:30 より)
- 場所 : 東京工業大学田町キャンパス・イノベーションセンター 2階 (多目的室2)
- オーガナイザー : 東京工業大学 上田 宏 教授
- プログラム :

開会の挨拶 (13:05) オーガナイザー 上田 宏 (東京工業大学 教授)

1. DNA-タンパク質ハイブリッド分子による高感度バイオ計測系の開発 (13:05-13:50)
東京工業大学大学院 総合理工学研究科 教授 小島 英里
2. 低分子量ペプチドの免疫とサンドイッチ ELISA 開発 (13:50-14:35)
株式会社コスミックコーポレーション マネージャ 稲垣 貴之
3. 蛍光シリカ粒子” Quartz Dot®” の蛍光イムノクロマト法への応用 (14:35-15:20)
古河電気工業株式会社 研究開発本部 會澤 英樹

休憩 (15:20-15:30)

4. オープンサンドイッチ法実用化に適したフェージ提示ベクターの構築とインフルエンザウイルス検出への応用 (15:30-15:50)
東京工業大学 助教 董 金華
5. Q-body を用いたマイコトキシン類測定系の開発 (15:50-16:10)
ウシオ電機株式会社 大橋 広行
6. 低分子化合物を認識する機能性抗体分子の創製 (16:10-16:50)
熊本大学大学院 教授 森岡 弘志

閉会の挨拶 (16:50-16:55) 有菌 幸司(熊本県立大学 教授、研究会会長)

情報交換会 (17:30-19:30)

参加費 : 会員 3,000 円 (要旨集込み)、非会員 5,000 円 (要旨集込み)、
学生 ; 参加費無料 (要旨集 2,000 円)

交流会参加費 : 5,000 円

参加申込 :

- (1) FAX での申し込み
下記必要事項を記入して事務局へ FAX 送付 (03-5689-1211)
- (2) E-mail での申し込み
下記必要事項を記入して事務局へ E-mail 送付 (basj@scas.co.jp)
- (3) 申込時の必要事項 (記載例)

生物化学的測定研究会第18回学術シンポジウムの参加を申し込みます。

会員種別 : 会員 (個人・法人)、非会員

交流会参加 : 参加、不参加

氏名 :

勤務先 :

郵便番号 :

住所 :

TEL :

FAX :

E-mail :

*参加費は当日受付でお支払い下さい

アクセス : JR 田町駅 (山手線・京浜東北線) より徒歩 2 分
(東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター、東京都港区芝浦 3-3-6)
http://www.titech.ac.jp/about/campus_maps/tamachi.html

JR 東京駅 ~ JR 田町駅 (約 10 分)

JR 新横浜駅 ~ JR 東神奈川駅 ~ JR 田町駅 (約 45 分)

羽田国際空港 ~ モノレール浜松町駅 ~ JR 浜松町駅 ~ JR 田町駅 (約 40 分)

羽田国際空港 ~ 京急品川駅 ~ JR 品川駅 ~ JR 田町駅 (約 30 分)

成田国際空港 ~ JR 成田空港駅 ~ JR 東京駅 ~ JR 田町駅 (約 100 分)

成田国際空港 ~ 京成成田駅 ~ 京成日暮里駅 ~ JR 日暮里駅 ~ JR 田町駅 (約 95 分)

問合せ : 生物化学的測定研究会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目 22 番 5 号

株式会社住化分析センター内

生物化学的測定研究会事務局 (山田)

TEL : 03-5689-1216 FAX : 03-5689-1221

E-mail : basj@scas.co.jp

以上